

一般会計の歳入歳出の総額は、歳入 70 億 6,044 万円、歳出 70 億 350 万円となり、形式収支は 5,694 万円、翌年度に繰り越すべき財源 569 万円を差し引いた実質収支も 5,125 万円の黒字決算となりました。

平成28年度に比べ、歳入は 19 億 4,306 万円増、歳出は 19 億 7,881 万円増と歳入歳出ともに大きく増加しました。主な要因は、普通建設事業の増加によるもので、それに伴い財源となる町債も大きく増加しました。

財政健全化指標

指 標	平成 28 年度	平成 29 年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	10.7%	11.1%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	75.8%	89.0%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

町債（公債費）残高

会計名	平成 28 年度	平成 29 年度
一般会計	92 億 4,220 万円	112 億 9,419 万円
浦郷診療所	1,268 万円	1,203 万円
簡易水道事業	7 億 1,072 万円	7 億 2,476 万円
下水道事業	14 億 340 万円	13 億 395 万円
合 計	113 億 6,900 万円	133 億 3,493 万円



基金残高

基金名	平成 28 年度	平成 29 年度
財政調整基金	9 億 9,867 万円	9 億 3,178 万円
減債基金	8 億 1,734 万円	8 億 4,521 万円
庁舎建設基金	3 億 70 万円	4 億 7,255 万円
国保関連基金	3,912 万円	3,917 万円
その他基金	8,619 万円	7,796 万円
合 計	21 億 2,539 万円	23 億 6,667 万円



今後の見通し

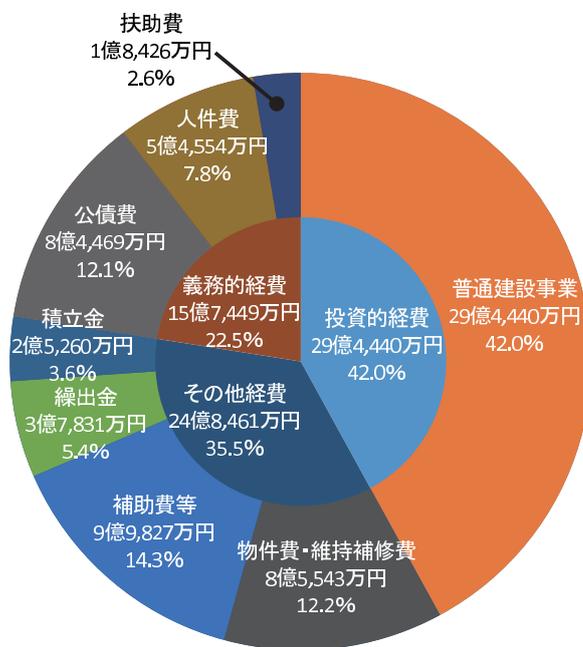
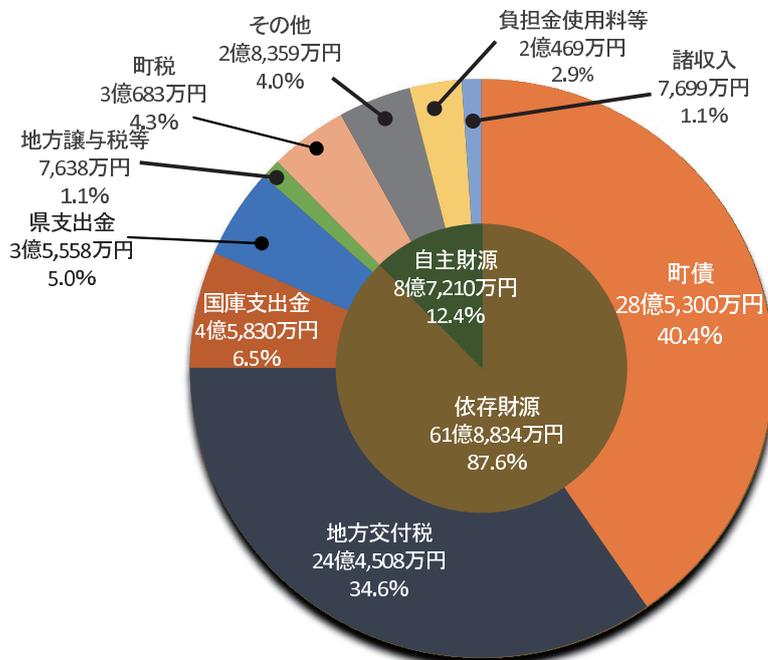
西ノ島町の財政は、これまで行ってきた行財政改革や歳出削減などにより、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が比較的堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

しかし、公債費の増加による義務的経費の増加が続いており、今後、庁舎建設事業の町債借入も予定しており、財政状況は決して楽観視できませんが、引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。

決算報告

一般会計

歳入・歳出ともに大きく増加しました



一般会計歳入 70億6,044万円

一般会計歳出 70億350万円

用語解説

- 自主財源**…町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- 依存財源**…国や県から交付されるお金や借入金。
- 地方交付税**…地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- 町債**…町の借金。
- 公債費**…町債の元利償還金等。
- 義務的経費**…支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- 投資的経費**…道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- 扶助費**…法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- 繰出金**…他の会計に支出するお金。



特別会計

会計名	歳入		歳出	差引
		うち一般会計からの繰入金		
国民健康保険事業	5億2,480万円	3,405万円	5億1,155万円	1,325万円
後期高齢者医療保険事業	1億677万円	5,915万円	1億673万円	4万円
浦郷診療所	6,349万円	280万円	6,336万円	13万円
へき地三度出張診療所	1,283万円	640万円	1,261万円	22万円
簡易水道事業	2億2,372万円	2,911万円	2億2,322万円	50万円
下水道事業	2億7,697万円	1億7,806万円	2億7,620万円	77万円
合計	12億858万円	3億957万円	11億9,367万円	1,491万円